

Environment of Kitakyushu City 2007

平成19年度版 北九州市の環境

目次

contents

004 はじめに

- 004 1. 北九州市の環境行政のあゆみ
- 005 2. 持続可能な社会の実現に向けて

006 特集 — 持続可能な社会を目指して —

- 006 1. 家庭ごみ収集制度見直しスタート
- 008 2. 全市共通ノーレジ袋ポイント事業「カンパスシール」始まる
- 010 3. 北九州市地球温暖化対策地域推進計画の策定
- 011 4. 「持続可能な開発のための教育(ESD)」の推進と国連大学・地域拠点(RCE)の認定
- 011 5. 日本の環境首都コンテスト 2006で総合1位を獲得

012 第1章 地域から世界にひろがる北九州市民環境力の強化

012 第1節 市民・事業者・行政の参加と協働

- 012 1. パートナーシップによる環境保全活動
- 019 2. 市民・事業者による取組の支援

022 第2節 優れた環境人財の育成

- 022 1. 北九州市環境人財育成総合計画の推進
- 022 2. 環境ミュージアムを拠点とした環境学習の推進
- 022 3. 北九州子どもエコクラブ活動の推進
- 023 4. 環境教育副読本による環境学習の推進
- 023 5. 九州環境技術創造道場
- 024 6. 環境学習サポーター
- 024 7. 北九州市自然環境サポーターの育成
- 024 8. その他の環境教育

025 第3節 環境情報の共有と発信

- 025 1. 様々な主体の情報共有・発信・交流の基盤づくり
- 026 2. あらゆる主体による環境政策への参加の推進
- 026 3. 環境情報の収集・整備・提供

027 第4節 国際的な連携・協働の推進

- 027 1. アジアの人財育成拠点形成

- 027 2. 諸外国との環境協力実績
- 029 3. 環境国際ビジネスの推進
- 030 4. 関係機関との連携

032 第2章 地域からの地球温暖化対策の推進

032 第1節 北九州市地球温暖化対策地域推進計画の推進

- 032 1. 市域の温室効果ガス総排出量
- 033 2. 市域の地球温暖化対策の施策及び計画の推進

035 第2節 北九州市役所の地球温暖化対策

- 035 1. 市役所の二酸化炭素総排出量
- 035 2. 市役所の地球温暖化対策

038 第3節 ヒートアイランド対策

- 038 1. 背景
- 039 2. これまでの取組と成果
- 039 3. 今後の取組

040 第3章 循環型の生活様式・産業構造への転換

040 第1節 ごみの減量化・資源化の推進

- 040 1. 一般廃棄物
- 050 2. 産業廃棄物

052 第2節 北九州エコタウン事業の推進

- 052 1. 概要
- 055 2. エコタウン事業の拡がり
- 055 3. 今後の取組

056 第4章 豊かな自然環境と快適な生活環境の確保

056 第1節 豊かな自然環境の保全とふれあいの確保

- 056 1. 自然環境の現況
- 057 2. 北九州市自然環境保全基本計画

- 058 3. 響灘・鳥がさえずる緑の回廊創成基本構想
- 059 4. 自然環境の保全と都市部の緑の創出
- 065 5. 親しみのある河川の整備
- 067 6. 臨海部の整備
- 070 7. 里地里山の保全と利用
- 071 8. 自然とのふれあい講座の開催
- 072 第2節 安心して暮らせる快適な生活環境の確保
- 072 1. 北九州市公害防止条例
- 072 2. 公害防止計画
- 073 3. 大気環境の保全
- 078 4. 水環境の保全
- 084 5. 土壌汚染対策
- 086 6. 騒音・振動対策
- 088 7. 化学物質対策
- 096 8. 悪臭対策
- 097 9. 自動車環境対策の推進
- 098 10. 環境科学研究所における検査・研究
- 100 11. 公害に関する苦情・要望
- 101 12. 公害健康被害の補償と予防

104 第3節 開発事業等における環境配慮の推進

- 104 1. 環境影響評価制度
- 105 2. 北九州市環境配慮指針

106 資料編

106 環境行政の体制

- 106 1. 環境行政組織
- 108 2. 施設概要
- 110 3. 予算
- 112 用語解説

